

令和元年8月1日に公表した下記の案内について、11月7日付けで更新しましたので、お知らせします。

令和元年11月7日

公益財団法人建築技術教育普及センター

建築設備士試験の試験方法の変更について（更新版）

昨今、省エネルギー技術を始め、建築設備に係る技術発展が目覚ましいものとなっており、また、建築物全体に占める建築設備の重要性も非常に高まってきています。このことにより、建築設備士の重要性もさらに高まってきていることから、建築設備士に求められる知識・技能について、より適切に判定できる試験制度とするために、**令和2年試験から**建築設備士試験の試験方法を、次のとおり変更することとしました。

1. 第一次試験(学科)の変更内容について

項目	変更後	変更前
出題数	建築一般知識	27問
	建築法規	18問
	建築設備	60問
	計	105問
出題形式	四肢択一式	五肢択一式
試験時間	建築一般知識	2時間30分
	建築法規	3時間
	建築設備	3時間
	計	6時間
卓上計算機	携行できる	携行できない

2. 第二次試験(設計製図)の変更内容について

項目	変更後	変更前	
建築設備基本計画 (必須問題)	問題数： <u>11問</u>	問題数： <u>10問</u>	
建築設備基本設計製図 (選択問題)	出題構成：		
	選択	計算問題	1問
	選択	系統図又は単線結線図	1問
	*共通	空調・換気設備の平面図	1問
		衛生給排水設備の平面図	1問
共通	電気設備の平面図	1問	
試験時間	5時間30分	5時間30分	

選択：空調・衛生・電気設備の区分の中から選択する問題
共通：選択の区分に関わらず、全てを解答する共通の問題

(令和元年11月7日付けの更新事項)

※ 建築設備基本設計製図(選択問題)において、変更後の「共通の各平面図」の出題内容は、変更前の「選択の平面図」と概ね同程度のものとなります。なお、変更前(令和元年以前)の試験問題は、当センターホームページに掲載していますので、ご参照ください。

問合せ先

公益財団法人建築技術教育普及センター 試験部試験第三課「建築設備士試験」担当
TEL:03-6261-3310(代表)